

時間		想定される児童の発言 ●=児童の主な活動 「」=児童の反応	▼=指導のポイント ◆=評価する子どもの姿	教師の発問や提案
短	長			
導入 30分	導入 45分	<p>彫り進み木版の表現の特徴から、表したいことをイメージし、配色や彫る順番を考えよう。</p> <p>めあて1 彫り進み木版の表し方の特徴から、自分なりの表し方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科書や教師の演示を基に、彫り進み木版の表し方を理解する。 ●教科書の作例について表したかったことや彫りの順番などについて交流する。 <p>●最初に赤で刷っているから、ツバメのどの部分の色が混ざらず、きれいな赤色が出ているね。</p> <p>●これは、何色から刷っているのかな。</p> <p>●輪郭になっているところは、三角刀を使ったのかな。</p> <p>●自分の表したい表現を決め、表したいことや構図、配色、彫る順番を考えながら下絵をかく。</p> <p>●色がだんだん重なって混ざっていくから、木の実の色が出るように、一番初めに赤で刷ろう。</p> <p>●どんどん絵が変わるから、思いのままに彫ったり刷ったりしてみようかな。</p>	<p>▼教科書p.59の「使ってみよう材料と用具 刷り重ねて表そう」を見せた後で、児童の前で簡単に演示したり活動の過程が分かる簡素な作品や版木を示したりすることで、彫り進み木版の表し方の特徴をつかめるようにする。</p> <p>▼彫りの順番によって、色の出方が変わることや、色の重なりによって表現が変化することに気付けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童にどこから彫っているのか、何色から刷っているか質問し、表現のイメージに結び付くようにする。 <p>▼版と刷り紙を置く位置(見当)を付けた台紙を用意しておく。</p> <p>▼明るい色から刷ることが基本であるが、あえて逆にして色の重なりを楽しむ面白さもあると伝える。</p> <p>◆彫り進み木版の表し方や特徴を理解し、彫り進み木版ならではの味わいを生かして表現しようとしている。</p> <p>学</p> <p>◆彫り進み木版の特徴から、表したいことを見つけたり、表す順序を考えたりしている。</p> <p>◆彫り進み木版の特徴から、表したいことについてイメージをもっている。</p>	<p>教師の発問や提案</p>
展開 135分	展開 285分	<p>イメージに合うように彫り方や刷る色、順番を考え、表現しよう。</p> <p>めあて2 表したいことを思い浮かべ、どのように表すのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●下絵から配色や彫る順番を計画し、彫りと刷りを繰り返す。 <p>●黄色を残したいから、明るい色から刷るようにしよう。</p> <p>●イメージしたように表すなら、ここを彫っておいたほうがよさそうだな。</p>	<p>▼安全な彫刻刀の扱い方を確認する。</p> <p>▼表したいことが明確になるよう、下絵を基に、残すところや省くところを考えて画面を構成するよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な表現や彫りの感触を楽しみ、偶然できた形から表したいことを見付けることもよいと伝える。 <p>▼イメージをもっているか、児童の様子を見守り、必要に応じて声をかける。</p>	<p>教師の発問や提案</p>

時間		想定される児童の発言 ●=児童の主な活動 「」=児童の反応	▼=指導のポイント ◆=評価する子どもの姿	教師の発問や提案
短	長			
展開(続き)	展開(続き)	<ul style="list-style-type: none"> ●細かい線にしたいから、ここは三角刀で彫ることにしよう。 ●丸刀より小丸刀の方が合うなあ。 ●2回目の色の重なりで、夕焼けに見えてきたから、彫る部分を変えようかな。 ●彫刻刀によって刷りの感じが変わるね。もう少し平刀で彫っておこう。 ●友だちは波立つ感じを表すために、平刀であえて彫りあとが残るようにしているんだね。私も取り入れてみよう。 <p>実態に応じた時間の延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童の活動の様子を見ながら、活動の時間を調整する。 <p>自分や友人の作品を見て、表したイメージや工夫を感じ取り、よさを伝え合おう。</p> <p>めあて3 表したいイメージをどのように工夫して表したのか、彫り進み木版ならではの表現の特徴をどのように生かしたかを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分や友だちの作品を見て、表したかったイメージや工夫、意図を伝え合い、よさを味わう。 <p>●夏の太陽のまぶしさが伝わるね。</p> <p>●黄色と赤のインクを重ねて、うまく薄橙の色を出したんだね。</p> <p>●この筋の感じは、版画じゃないと表せないね。</p> <p>●後片付けを行う。</p>	<p>▼児童がそれぞれの彫りの効果を考えながら線の太さを意識して彫れるように、助言したり友だちと交流できるように促したりする。</p> <p>▼彫りや刷りを試しながら活動を進められるよう、3~4枚ずつ刷っておく。</p> <p>◆彫り進み木版の表現の特徴から、表したいことに合う形や色に気付いている。</p> <p>◆表したいことに合うように、彫る線の太さや、配色する順番など表し方を工夫している。</p> <p>▼自然に学び合いが生まれるように、休み時間に表現途中の版木や作品を掲示し、表現の工夫や構成の意図、配色の美しさ、彫刻刀の使い分けの意図などについて付箋などで交流できるようにしたりする。</p>	<p>教師の発問や提案</p>
振り返り 15分	振り返り 30分	<p>自分や友人の作品を見て、表したイメージや工夫を感じ取り、よさを伝え合おう。</p> <p>めあて3 表したいイメージをどのように工夫して表したのか、彫り進み木版ならではの表現の特徴をどのように生かしたかを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分や友だちの作品を見て、表したかったイメージや工夫、意図を伝え合い、よさを味わう。 <p>●夏の太陽のまぶしさが伝わるね。</p> <p>●黄色と赤のインクを重ねて、うまく薄橙の色を出したんだね。</p> <p>●この筋の感じは、版画じゃないと表せないね。</p> <p>●後片付けを行う。</p>	<p>▼自分や友だちの作品を見て、彫り進み木版ならではの特徴を生かして表しているところを見つけ、よさや意図を交流する場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その作品に表された表現の工夫や構成の意図、配色の美しさ、彫刻刀の使い分けの意図などについて交流できるように促す。 <p>◆友だちと絵を見せ合い、表したかったことや表し方の特徴、よさを感じ取っている。</p> <p>▼まとめをし、後片付けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の後片付けの点検を行う。 	<p>教師の発問や提案</p>

教科書の活用

- 事前に材料・用具ページを見て、下絵と彫る順番、刷る色の関係に気付くようにする。
- 教科書に掲載されている作品を見て、絵の作者が表したかったことや配色の順番、表し方の工夫を聞き合う場を設け、活動意欲が高まるようにする。